

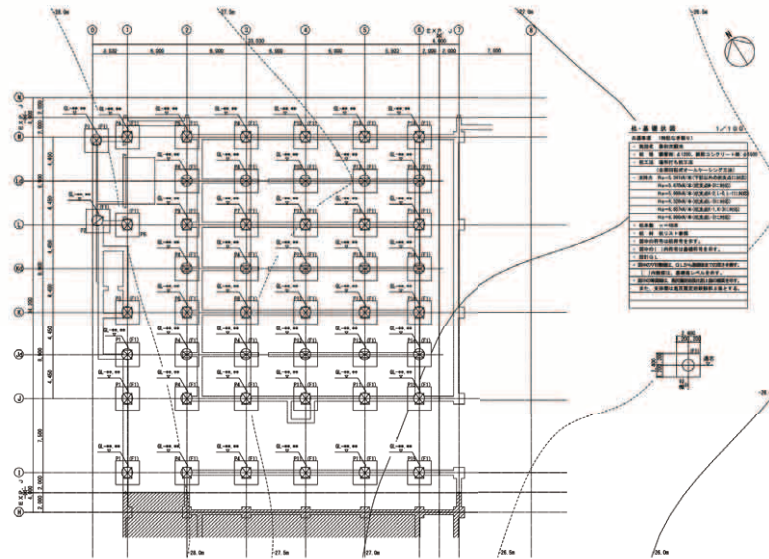
1 地盤条件の整理

土質調査の結果を基に、より適切な地盤条件を設定し、構造計画、基礎計画および仮設計画を立てます。
また、各準拠指針に従い、液状化判定を行った上で設計に反映させます。

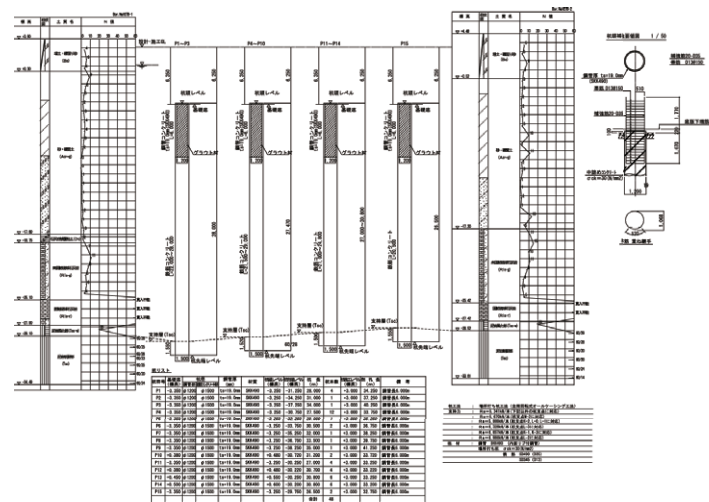
2 基礎計画

地盤条件を反映し、適切な基礎工法を選定します。

- ・液状化判定結果に基づいた、液状化対策工（SCP工法等）の計画・設計
- ・地盤改良併用を含む直接基礎、および杭基礎（既製杭、回転杭、場所打ち杭等）の計画・設計



杭 基礎伏図



杭 基礎リスト

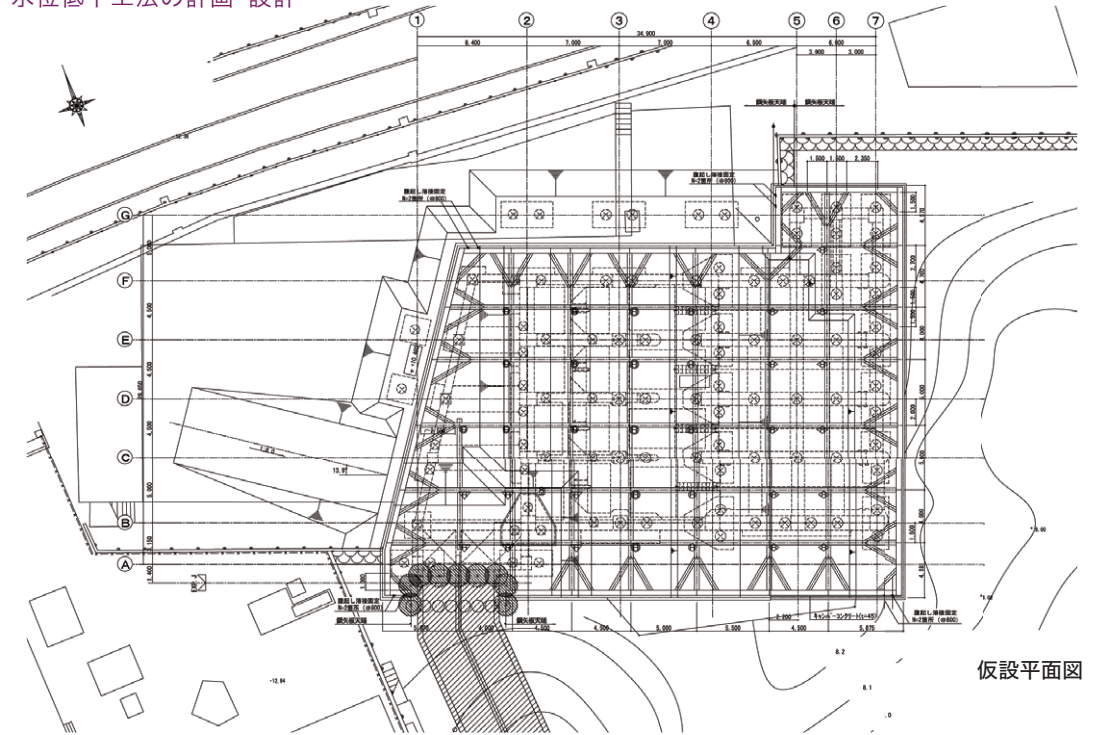


左図の基礎施工風景

3 仮設計画

地盤条件を反映し、適切な仮設計画を立案・設計します。

- ・掘削深さ10m程度までの慣用法による設計、および10m以深の大規模掘削に対する弾塑性法による設計
- ・鋼製支保工、土留めアンカーおよびタイロッド等の設計
- ・地下水位低下工法の計画・設計

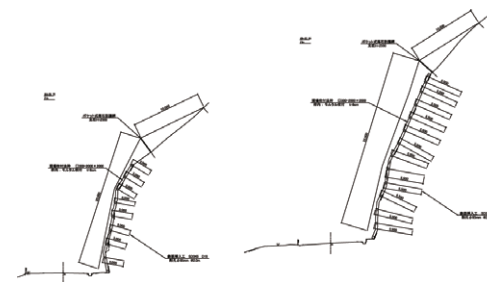


仮設平面図

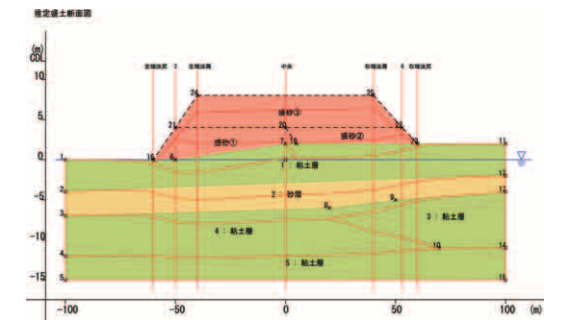
4 その他

その他必要に応じて、以下の検討を行います。

- ・斜面安定計算および斜面崩壊対策工の計画・設計（グラウンドアンカー、ロックボルト、抑止杭等）
- ・地盤の圧密沈下解析および検討（Terzaghiの1次元圧密理論による）



斜面安定の補強例（鉄筋挿入工・吹付法砕工）



圧密沈下の検討例